

●上期の取組（津南町芦ヶ崎地区）

- 年度が変わり、新体制となったサポートチームメンバーで顔合わせを行い、昨年度までの情報を共有した。昨年度からの課題として、地区協議会がサポートチームへ期待することが不明であったため、地区協議会へ再度サポートチーム活動について説明を行い、理解促進を図った。
- 地区協議会での話し合い結果、協議会としてサポートチームを受け入れることは困難と判断。今後のサポートチーム活動について検討を要することとなった。

●下期の取組（津南町芦ヶ崎**本村**地区）

- 地元有志からの申し出を受け、新たに「芦ヶ崎の資源を活用する会（仮称）」（芦ヶ崎本村地区）を支援対象に変更した。
- 有志団体が一緒に取り組んでいきたいことなどを知るため、メンバーでの顔合わせを行い、今後の活動の方向性を確認。
- 地区との対話や現地視察により、地区のもつ歴史資源について概要を把握した。

